

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和4年度
意見交換会(第2回)

岩手県

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局
2022年10月12日

● 目次

1. 本日の論点
2. 第1回意見交換会の振り返り
3. 令和4年度実践の場の具体案について
 - ① 今年度の取組の狙い・全体像
 - ② エクスカーションプログラム骨子案
 - ③ 実践の場 具体案
 - ④ 数値目標案
4. 意見交換
5. 今後のスケジュール

● 1. 本日の論点

実践の場実施に向けて、プログラム内容に関する議論をさせていただきます。

論点 1

実践の場（モニタリングツアー）実施にあたり、目的の再確認

論点 2

エクスカーションプログラム案に関する意見及び協力いただく団体

論点 3

実践の場（モニタリングツアー）にお招きする団体、ツアー後の意見交換の内容等

論点 4

目的達成に向けて副代表団体として支援・関与できること

● 2. 第1回意見交換会の振り返り

- 第1回意見交換会にて、皆様よりいただいたご意見に対する回答及び反映状況を下記の通り整理。

No,	主な意見	回答・反映
1	<p><u>●テーマについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">実際にプログラムを走らせるところはまだイメージできていないところもある「交流人口」にはずっと取り組んでいたのでテーマとしては良いのかなと思う。ただ、説明はしていただいたがイメージがつかないので、なかなか意見が出づらいというのが正直なところだどういう内容になりうるのか資料を見てイメージを膨らませてみたが、まだイメージがついていない内容については、今までとは違うタイプのもので未知の世界という感じもあるが、最終的に今回の取組テーマにつながるものだという整理ができるれば、否定するものではないと思っている	P.4以降にテーマ、エクスカーションプログラムの詳細を整理しました。
2	<p><u>●エクスカーションプログラムについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">エクスカーションに関しては、何か過去の具体例を出した方がいい例えば洞爺湖サミットでは「札幌で2日間過ごす」「洞爺湖のクルージング」というようなアトラクションが用意され、参加者の楽しみになっていた。そうした中の1つのメニューとして「みちのく潮風トレイル」を入れたいのだという具体的な話がわかれれば、こういう面で協力できるのではないかという具体的な話に広がっていくと思うゴールがわかれれば皆ついて行くのだが、どうもゴールがイメージできていない次回は「こういうものをやりたいのだ」とイメージできるものをお示しいただけると苦労しなくて済むと思う三陸という土地は2019年のラグビーワールドカップなどいろいろな経験をしており、他所よりそういうことが得意な地域だと思う。今後はそういうことも織り交ぜながら進めていくことが、上手く回していくソースになるのではないかと思う	エクスカーションプログラムの事例について、参考資料1、2を用意しました。また、エクスカーションプログラム実施の狙いについてはP.5～7に記載しました。 本取組のゴールイメージについては、P.8に将来ビジョンを記載しました。
3	<p><u>●エクスカーションプログラム案に関する意見及び協力いただく団体について</u></p> <ul style="list-style-type: none">今のところ推薦する団体は思いつかないで、また検討させていただきたい。今の時点で挙げられる団体は特にない。浄土日和さんのお話のように、現場で活躍されている方々の方が情報を持っていると思う。	浄土日和より「田老の学ぶ防災ガイド」、「NPO法人体験村たのはたネットワーク」が協力いただく団体として挙がっています。 この他、エクスカーションプログラム案及び協力いただく団体について、本日意見をお願いします。

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (① 今年度の取組の狙い・全体像)

1. 今年度の意見交換会・実践の場の進め方について

- 第2期復興・創生期間の「新しい東北」の取組では、地域の取組や取組を通じて得られた知見を被災地内外に普及展開することが重要。
- 2023年のG7、2025年の大阪・関西万博、各種MICE等により、国内外から東北に訪れる方が生じる機会をとらえ、具体的なプロジェクトの企画・実施を通じて、地域の抱えている課題解決や国内外への情報発信につなげていってはどうか。

2. 今年度の意見交換会・実践の場のテーマ・取組内容案について (※第一回意見交換会事務局資料抜粋)

テーマ案：「関係人口を活用した持続可能な地域づくり」

● テーマ設定の背景

岩手県ではこれまで多様な第三者の参画に着目した取組を推進してきた経緯がある。実際に同県では復興道路の開通や三陸鉄道リアス線の全線開通により三陸地域へのアクセスの面から多様なプレイヤーが参画しやすい環境が整ってきている。よって、同県ではこれらの環境を活かしたこれからの三陸地域の在り方について、関係人口を活かす視点から持続可能な地域づくりを目指す。

● テーマ設定の目的

地域のプレイヤーのみならず、地域外のプレイヤーも巻き込んでこれからの三陸地域の在り方を検討することで、人口減少等の社会課題にも打ち勝つことができる持続可能な地域づくりを目指す。

⇒ 具体的なプロジェクトとして、2023年のG7、2025年の大阪・関西万博、各種MICE等を見据えた、岩手県沿岸のエクスカーションプログラムを検討してはどうか。

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (① 今年度の取組の狙い・全体像)

3. エクスカーションプログラムの狙い

- エクスカーションプログラムの実施による効果を以下整理。(エクスカーションプログラムの事例:参考資料1、2参照)

MICE参加者の観光消費額向上

1) 観光消費効果

震災遺構やみちのく潮風トレイルを活かしたエクスカーションプログラムを策定することで、東北域内のMICE実施時における観光消費額向上に結びつける。これにより、地域文化の観光消費による収益化を図り、持続可能な地域づくりにつなげる。



2) 情報発信効果

防災に関する学びを組み込んだエクスカーションプログラムを実施することによりニュースバリューを高め、震災の記憶の風化を防ぐ。



3) 事後誘客効果

MICEは政府機関や学者、研究者など知識層が主な参加者となる。アフターコンベンションと呼ばれるエクスカーションプログラムは、これら知識層に対して岩手県沿岸地域の状況を知らせる絶好の機会であり、帰国後に他の会議や視察等の機会創出につながる。



- なお、沿岸地域の観光振興は地域活性化に有効な手段であるものの、振興にあたっては被災者感情に配慮し進める必要がある。
- このため、今回の検討では一般旅行向けの商品ではなく、MICE等による限定された人を対象とするエクスカーションプログラムを推進することで、被災者感情に配慮した観光振興を進めることを狙いとする。

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (① 今年度の取組の狙い・全体像)

4. エクスカーションプログラム実施に向けた岩手県の課題と機会

A.社会課題（人口減少、担い手不足等）

- 従前の人ロハス減少課題に加えコロナ禍の影響による観光従事者の減少

B.機会①：東北地域としてのMICE振興

- 仙台を中心としたMICE誘致の動きの活発化

C.機会②：復興支援道路の全面開通

- 仙台市から三陸沿岸まで復興支援道路を使用することで約3時間でアクセスが可能



5. 基本方針

A.社会課題解決に向けて（人口減少、担い手不足等）

- 一般旅行とは異なり、事前にルートが決まっているエクスカーションプログラムの実施により、計画的に需要拡大と受け入れ拡大のバランスを調整することが可能となる

B・C.機会①、②を活かす

- 仙台からエクスカーションプログラムによる視察者を招致するためのモデルコースを策定し、MICEを運営する事業者、会場、ホテル、旅行会社等へ紹介する。

2023年G7開催時（仙台会場）、緑化フェア、2025年大阪・関西万博に向け、
岩手県沿岸のエクスカーションプログラムを確立し、持続可能な地域づくりにつなげる。

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (① 今年度の取組の狙い・全体像)

6. 将来ビジョン（イメージ）

	<u>2022年度</u>	<u>2023年度</u>	<u>2024年度</u>	<u>2025年度</u>
ルート	a. みちのく潮風トレイルを活かしたエクスカーションプログラムの造成（3ルート）	a. 継続 b. 三陸鉄道、復興道路を活かしたエクスカーションプログラムの造成（3ルート） 第3回意見交換会において次年度以降の意見交換会での関与方針について検討	a. 継続 b. 継続 c. ルート拡充	大阪万博 計10ルート
受入れ	a. 浄土日和	a. 浄土日和 b. DMO等 ※上記連携を検討	a. 浄土日和 b. DMO等 c. 観光関連団体	a. 浄土日和 b. DMO等 c. 観光関連団体
手配	a. ランドオペレーター ※未決定	a.b ランドオペレーター 実販売開始	a.b.c ランドオペレーター	ランドオペレーター
販売	a. 旅行会社、会場、イベント会社 ※未決定	a.b 旅行会社、会場、イベント会社 海外現地へのセールス ※県との連携	a.b.c 旅行会社、会場、イベント会社 海外現地へのセールス ※県との連携	万博会場での紹介
目指す姿 KPI	➢ ルート3本策定 ➢ モニタリングツアーオの実施 ➢ 販売方法の方針策定	➢ 販売手法・体制の確立 ➢ 新規ルート3本策定 ➢ 受入れ開始（10本催行）	➢ 新規ルート4本、計10本完了 ➢ 受入れ継続（30本催行）	➢ 万博会場での紹介 ➢ 万博会場からツアーオ受入れ（100本）

将来ビジョン

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について（②エクスカーションプログラム骨子案）

- 今年度、主団体においては、みちのく潮風トレイルを活かしたエクスカーションプログラムを3ルート検討している。内容及び協力いただく団体候補に関して意見交換を行いたい。
- また、実践の場では、このうち、1コースを体験するとともに、参加者による意見交換会を開催することにより、エクスカーションプログラムの造成・販売に向けた課題の抽出や販売方法・体制について検討することとしてはどうか。

<エクスカーションプログラム骨子案>

※ 対象はいずれも東北主要都市におけるMICE参加者

エリア	内容	協力いただく団体候補
1) 宮古市	<ul style="list-style-type: none">● 1日目：13時～17時<ul style="list-style-type: none">・ みちのく潮風トレイル体験・ 歩行距離 3km・ コース途中での体験メニュー<ul style="list-style-type: none">➢ 青の洞窟さっぽね船体験➢ 浄土ヶ浜ビジターセンター 見学● 2日目：10時～12時<ul style="list-style-type: none">・ 震災学習・防災エコツアーコース	◆ 田老の学ぶ防災ガイド
2) 田野畠村	<ul style="list-style-type: none">● 1日目：13時～17時<ul style="list-style-type: none">・ みちのく潮風トレイル体験・ 歩行距離 2km・ コース途中での体験メニュー<ul style="list-style-type: none">➢ 机浜番屋群 塩づくり体験● 2日目：10時～12時<ul style="list-style-type: none">・ 大津波語り部・ サッパ船アドベンチャーズ	◆ NPO法人体験村たのはたネットワーク（北山崎ビジターセンター内）
3) 気仙地域 <small>※県内ではないが、 みちのく潮風トレイル関連 コースとして考案</small>	<p>※日帰り1日コース</p> <ul style="list-style-type: none">● 14時～16時<ul style="list-style-type: none">・ 亀山・ 気仙沼大島大橋・ 龍舞崎	

净土日和作成資料



①岩手県宮古市



歩行距離 3km
歩行時間 90分

コース途中での体験メニュー

- ・青の洞窟さっぽ船体験
- ・浄土ヶ浜ビジターセンター 見学



①岩手県宮古市



②岩手県田野畠村



歩行距離 2km
歩行時間 90分

コース途中での体験メニュー
・机浜番屋群 塩づくり体験



②岩手県田野畠村



③宮城県気仙沼市大島



亀山 山頂からの景色

車で、山頂手前まで行けるので、登山でも車でも大丈夫です。

気仙沼大島大橋

トレイルゴール地点 龍舞崎
スタート地点からだと約2km 90分ほどで歩きます。

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (③実践の場 具体案)

項目	内容
タイトル案	みちのく潮風トレイル体験から三陸沿岸地域の復興の姿を知るエクスカーションプログラム モニタリングツアー
運営主体	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人浄土日和及び協力いただく団体
実践の場 案 (モニタリングツアー)	<p>●実践の場の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> みちのく潮風トレイルを活用したエクスカーションプログラムの造成・販売に向けた課題の抽出及び販売方法・体制の検討 <p>●お招きする団体</p> <ul style="list-style-type: none"> エクスカーションプログラム販売時に手配、販売側となる各種事業者及び団体 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ランドオペレーター ➢ 岩手県及び宮城県の主要会議施設、ホテル等のMICE担当者 ➢ 旅行会社及びイベント会社のMICE担当者 その他、お招きする事業者・団体（自治体、観光協会、DMO等） <p>●実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年1月 <p>●モニタリングツアー行程イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア・行程案のうち1コースを体験 <p>■エリア・行程（案）※詳細はp9~14参照</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 宮古市（1泊2日） 2) 田野畠村（1泊2日） 3) 気仙地域（1泊2日）※県内ではないが、みちのく潮風トレイル関連コースとして考案 2日目午後に意見交換会を開催

● 3. 令和4年度実践の場の具体案について (⑤数値目標案)

項目	目標値
①実践の場へお招きする方の数	10名
②今年度のエクスカーションプログラム造成数	3ルート
※2023年度以降 ③エクスカーションプログラム造成数	20ルート以上
※2023年度以降 ④エクスカーションプログラム参加者数	100人以上

● 4. 意見交換

論点1

実践の場（モニタリングツアー）実施にあたり、目的の再確認

目的：みちのく潮風トレイルを活用したエクスカーションプログラムの造成・販売に向けた課題の抽出及び販売方法・体制の検討

- エクスカーションプログラムに対する改善点等の抽出
- 販売方法・体制の整理

論点2

エクスカーションプログラム案に関する意見及び協力いただく団体

- エクスカーションプログラム3ルートに対する改善点等
- 追加すべきプログラム、それに伴い協力いただく団体等

論点3

実践の場（モニタリングツアー）にお招きする団体、ツアー後の意見交換の内容等

- 手配を担当する候補事業者
- 販売を担当する候補事業者
- その他、お招きする事業者・団体（自治体、観光協会、DMO等）
 - ・ 例えば来年度以降のルート造成等に当たり、今年度の実践の場から関与いただいた方がよい団体等はいるか。

論点4

目的達成に向けて副代表団体として支援・関与できること

今年度の実践の場や来年度以降の取組を見据え、例えば以下のような点など、副代表団体として支援・関与できることはあるか。

岩手大学様 : 学生視点によるエクスカーションプログラムの評価をいただきたく、実践の場に学生の参加を募ることは可能か。

岩手銀行様 : エクスカーションプログラムの実施及び販売にあたり、連携可能な貴行の取組はあるか。

連携復興センター様 : 連携可能な貴センターで取り組まれている事業はあるか。

2023年のルート拡充にあたり、本年度お招きすべき団体等はあるか。

岩手県庁様 : 県の取組との連動を視野に入れ、実践の場や意見交換会への他部署の招請、情報共有について必要性をご検討ください。17

● 5. 今後のスケジュール

月日	内容	備考
10月11日～14日	第2回意見交換会	
10月17日～21日	議事録整理・エクスカーションプログラム修正	
10月24日～28日	議事録確定・エクスカーションプログラム確定・協力いただく団体調整	
10月31日～11月4日	お招きする団体への声掛け開始	
11月7日～11日		
11月14日～18日	お招きする団体の確定	
11月21日～25日	実践の場実施に向けた準備開始	
11月28日～12月2日		
12月5日～12月9日		
12月12日～16日		
12月19日～23日		
12月26日～1月6日		
1月9日～13日		
1月16日～20日	実践の場（1月19日・20日）※案	
1月23日～27日	実践の場検証資料作成・第3回意見交換会資料作成	
1月30日～2月3日		
2月6日～10日	実践の場検証資料確定・第3回意見交換会資料確定	
2月13日～17日		
2月20日～24日	第3回意見交換会	
2月27日～3月3日		